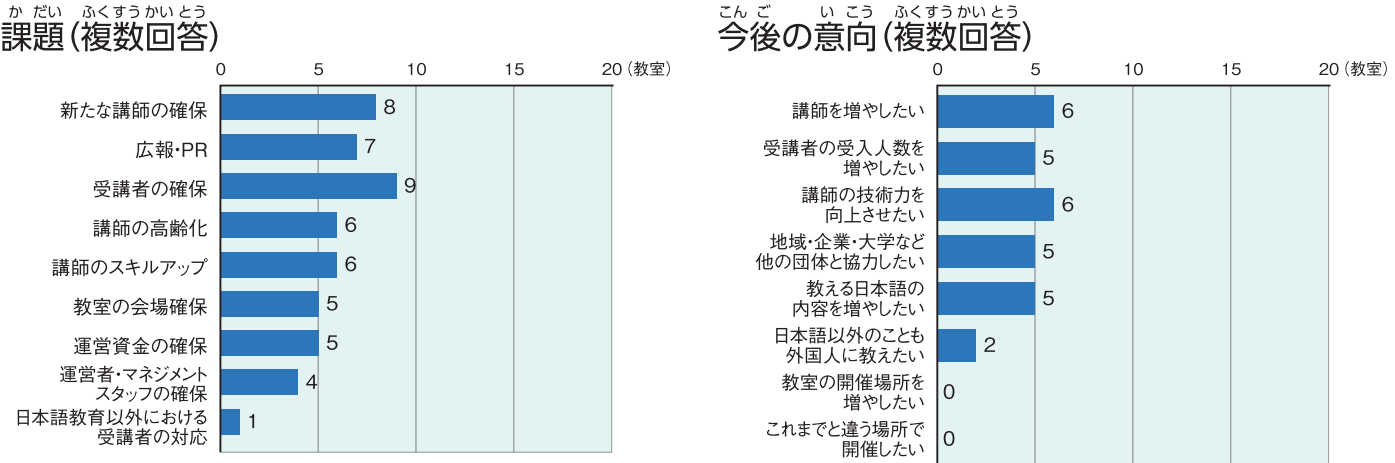




ひ あ り ん ぐ ちょう さ けつ か
(3) ヒアリングの調査結果

- 【日本語教室運営に関する意見】
- 日本語教室を安定的に運営していくための開催場所、資金を確保することが困難。
 - 学習者のニーズに合った教室選択ができるよう、教室の特徴が伝わる情報提供が必要。
 - 学習者、スタッフを確保することが困難。
- 【日本語指導者・日本語学習支援者に関する意見】
- 日本語指導者・日本語学習支援者はボランティアであり、交通費等の経済的負担、教室運営準備のための時間的な負担等がある。
 - 日本語指導者・日本語学習支援者のスキルアップの機会が少ない。
- 【学習者に関する意見】
- 日本語教室を知るきっかけは、友人等からの口コミ、インターネットが多い。
 - 日本語教室を選んだ理由は、「家から近い・費用が安い・時間が合う」が多い。
 - 学習者の学びたいニーズや都合のよい曜日・時間帯に合った教室を探すのが困難。
- 【子どもの日本語教育に関する意見】
- 子どもを対象とするクラス、親子で参加できるクラスを増やしてほしい。
 - 子どもについては学校での対応が必要。
- 【連携に関する意見】
- 地域・企業・大学との連携を1団体で行うことは困難。市等の公的な機関の仲介が必要。
 - 企業は責任をもって外国人従業員に日本語教育を行ってほしい。
 - 地域や企業と連携して日本語教育に取り組むことができる

- 【その他】
- 学習者の学びたいニーズは異なるので、様々な学習環境を整える必要がある。
 - 初期日本語教育は専門家が短期集中的に教える方が効果的。
 - 各区、交通の便のよいところに日本語教室があるとよい。

ち い き に ほん ご きょうい く かん ちょう さ けつ か
地域日本語教育に関する調査結果 2020年(令和2年)2月 名古屋市

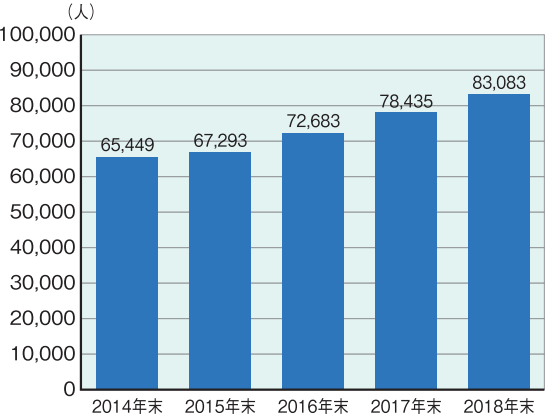
【編集】名古屋市 観光文化交流局 観光交流部 国際交流課

TEL:052-972-3062 MAIL:a3061@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp

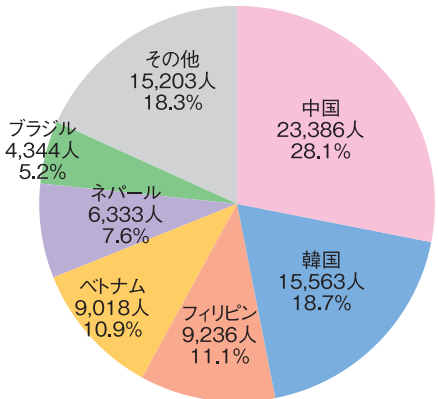
ち い き に ほん ご きょうい く かん ちょう さ けつ か
地域日本語教育に関する調査結果
【概要版】

がい こく じん じゅうみん じょう ぎょう がい こく じん じゅうみん とう けい
外国人住民の状況(外国人住民統計より)

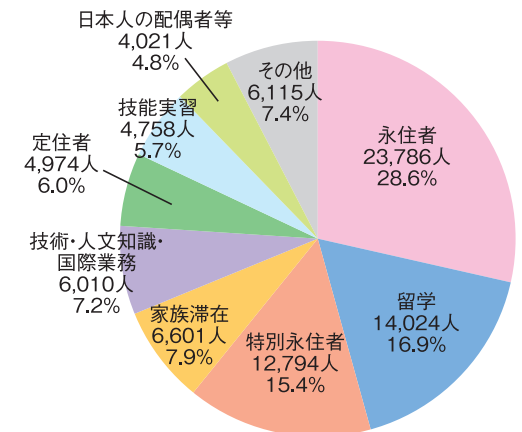
がい こく じん じゅうみん じん こう すい い
外国人住民人口の推移



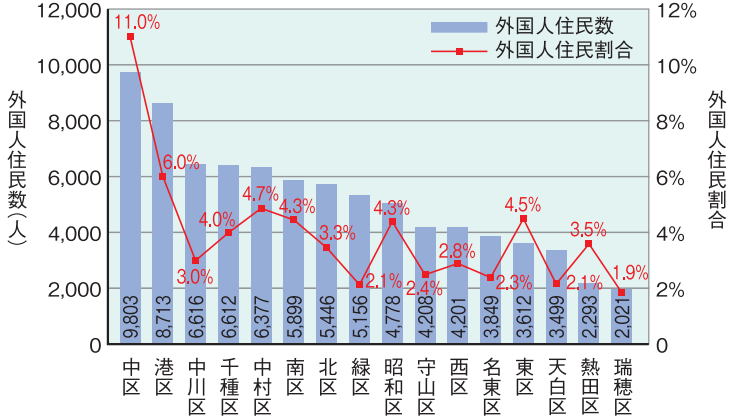
おも こく せきべつ がい こく じん じゅうみん じん こう わり あい
主な国籍別外国人住民人口の割合



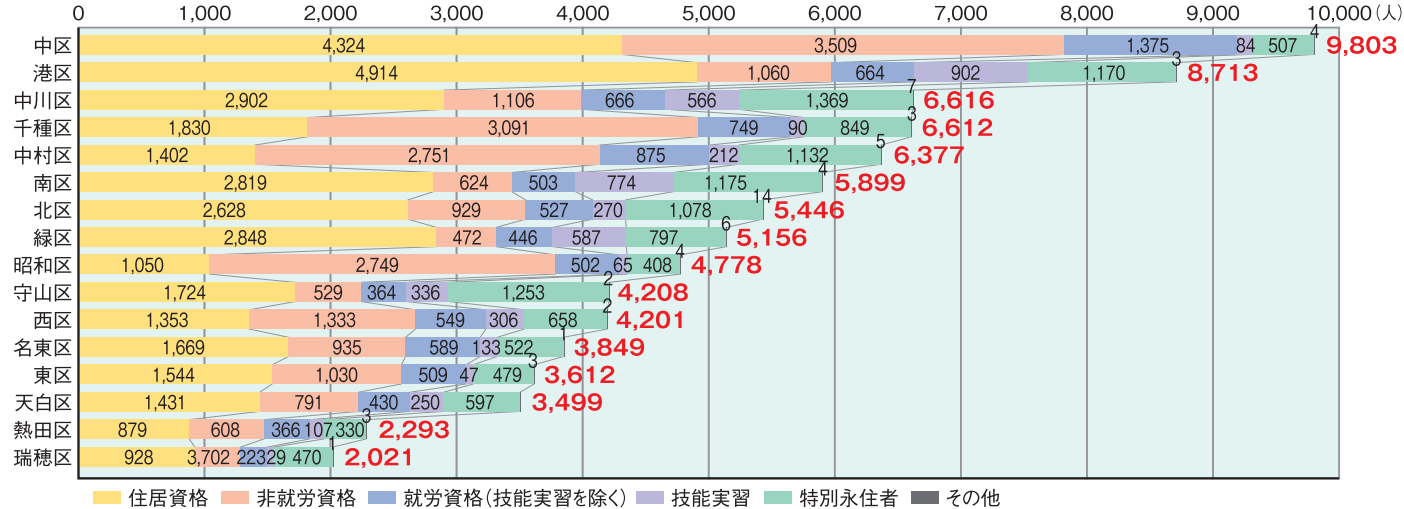
ざいりゅう し かくべつ がい こく じん じゅうみん わり あい
在留資格別外国人住民の割合



く べつ がい こく じん じゅうみん じん こう わり あい
区別外国人住民人口と割合



く べつ ざいりゅう し かくべつ がい こく じん じゅうみん じん こう
区別・在留資格別外国人住民人口



外国人住民の日本語学習に関する意向 (外国人住民アンケート調査結果より)

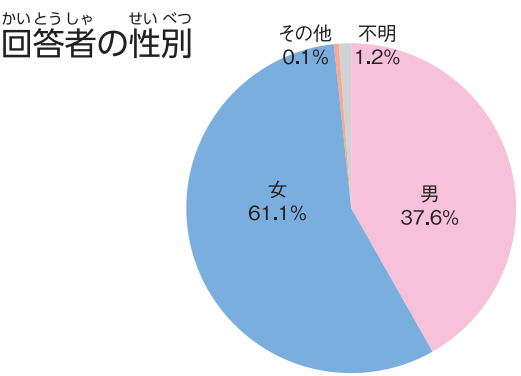
(1) 調査の概要

- 外国人住民が増加する中、日本で快適に生活するために、できるだけ日本語を学習してもらえよう、外国人住民の日本語学習に関する実態と意向を把握するアンケート調査を実施しました。

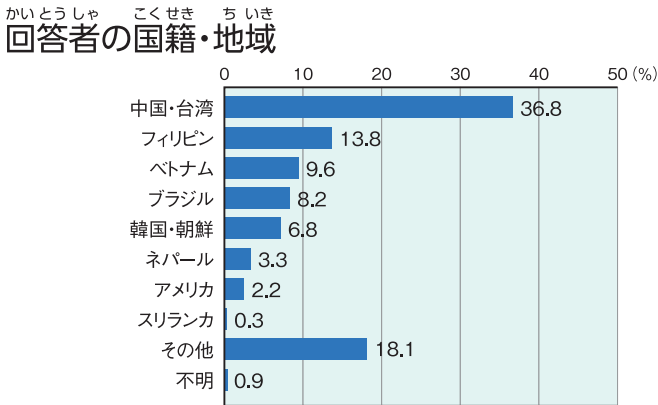
対象：3,000人 回答者：780人

(2) 調査結果

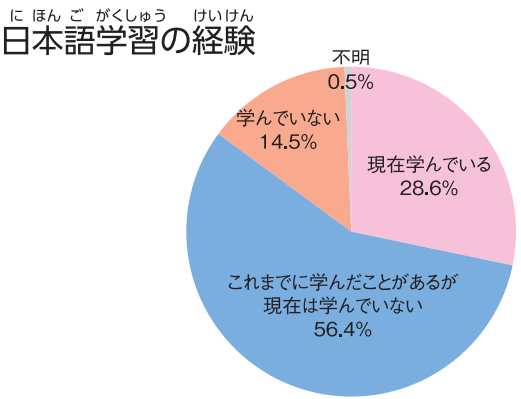
回答者の性別



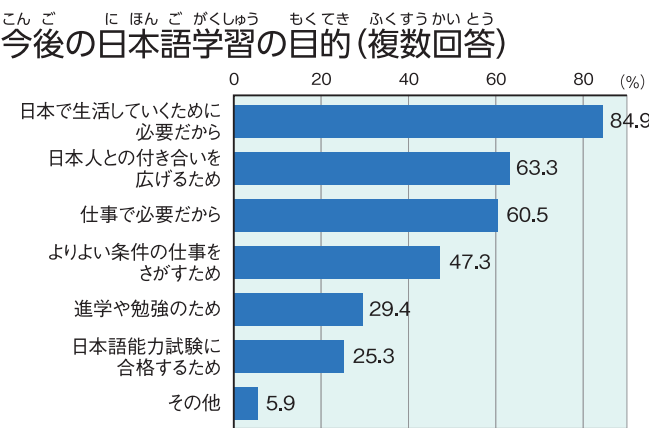
回答者の国籍・地域



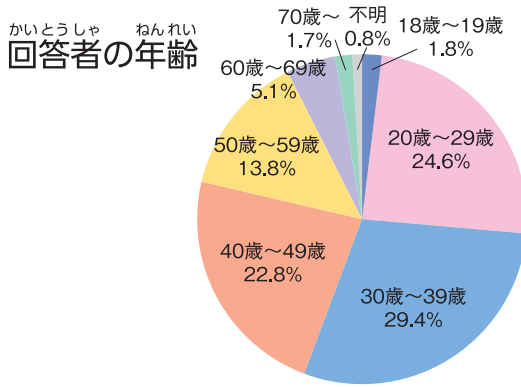
日本語学習の経験



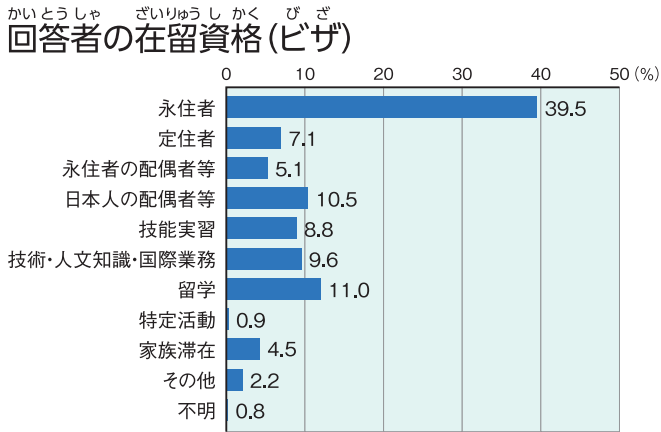
今後の日本語学習の目的 (複数回答)



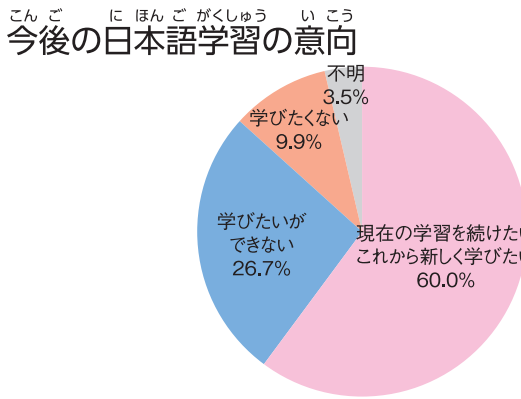
回答者の年齢



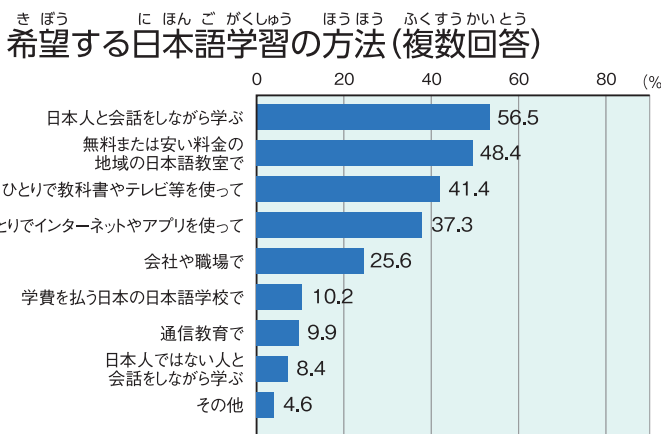
回答者の在留資格 (ビザ)



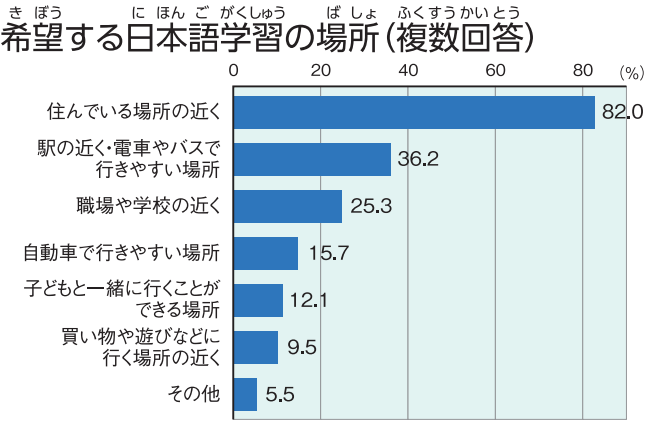
今後の日本語学習の意向



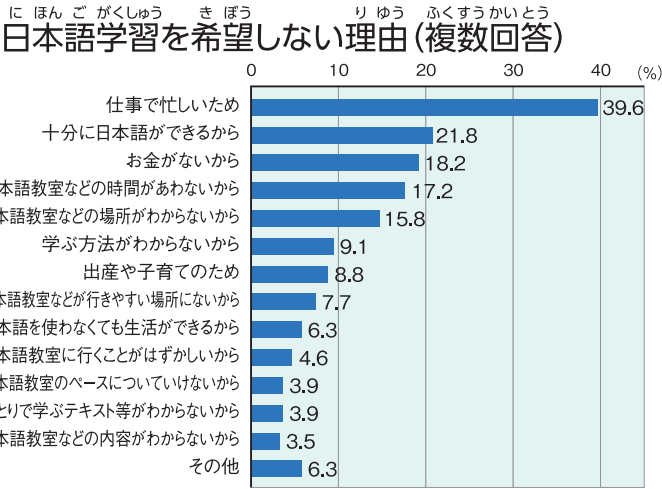
希望する日本語学習の方法 (複数回答)



希望する日本語学習の場所 (複数回答)



日本語学習を希望しない理由 (複数回答)



地域日本語教室の状況 (地域日本語教室アンケート、ヒアリング調査結果より)

(1) 調査の概要

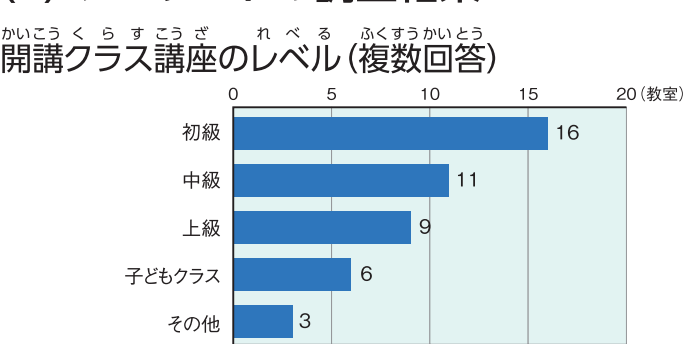
- 地域における日本語教育を中心的に担っている日本語教室の現状と今後の意向を把握する目的で、アンケート調査を実施しました。

アンケート調査の対象：市内日本語教室リストに掲載されている32教室 回答：23教室

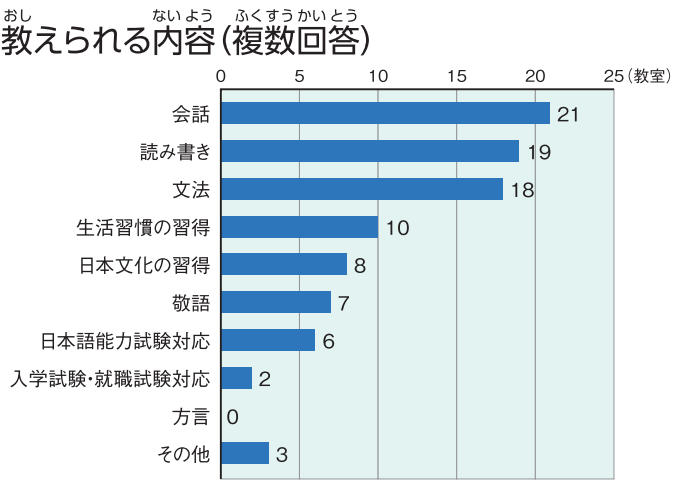
ヒアリング調査の対象：市内日本語教室、地域団体、大学等の15団体

(2) アンケートの調査結果

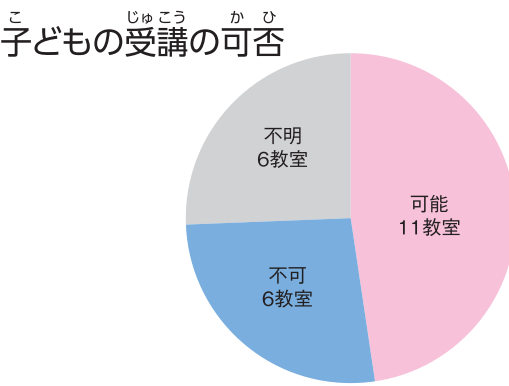
開講クラス講座のレベル (複数回答)



教えられる内容 (複数回答)



子どもの受講の可否



子ども同伴の可否

